

第七十三議會から路政問題を覗く

一 記 者

はし が き

御批判を俟つことにする。

堤氏の質疑

今議會に於ける路政問題としての目星いものは、遺憾ながら餘りなかつたと斷言してよい。併しながら衆議院の本會議に於ける、國務大臣の演説に對する質疑に於て、堤康次郎氏の一般土木就中道路鋪裝費の問題と、分科會に於ける嘗ての路政僧こと、田中好さんの一般土木政策や、關門國道問題から、「ガソリン」税と道路の鋪裝等に對するものと、貴族院の豫算總會に於ける内田重成氏の、關門隧道に對する質問等は、銃後の全國民の腦裡に烙印を押したものである。

今之等の質問の内容と、政府の答辯とを摘記して讀者の

堤氏は、長期抗戰に堪えるが爲には、銃後の施設を怠慢にすべきではないが、夫れが爲國際貸借に關係ないもの迄も無暗に削除するに於ては、却つて銃後の施設に缺陷を生ずるに至り、長期抗戰に堪へるべきやり方ではない。勞力費の多い土木豫算は、千七百餘萬圓も減じて居る。殊に道路の鋪裝費が減つて居る。道路を鋪裝することに因つて、石油の消費が、大體二割を益するし、自動車も、三年のものが六年も保つ。十四萬臺の自動車では年額九千三百萬圓の自動車の消耗の節約になる。自動車の普及と農作

物の被害の排除には、道路を舗装することに政府として努力すべきことであり、夫れを爲すことが銚後の対策としても、亦國家經濟上から觀察しても必要なことである。

之に對し末次内務大臣は、御尤もなことに拜聽した。土木事業は各般の事業の基礎的の施設であり、普遍的に起工して、産業の進展に拍車を掛け、民力の充實を圖りたいのである。そして又銚後の施設として、地方に活氣を添へると云ふ點からも必要と思ふのであるが、事變の關係で、國庫財政の都合上平時通りに力を注ぐことが出来なくて、一時繰延べになつたものもあるが、又新に計上したのもある。銚後施設の一方法として、道路の改善、河川の改修に付更に將來充分研究の上、御期待に副ひ度いと答辯して居る。

田中氏の質疑

田中氏は土木政策に關して、現内閣は生産擴充を強調して居つて、國民も悉皆其の實現を期待して居る。此の生産

擴充は土木事業を起興して國民の經濟力を伸長せしめなければならぬのであるが、實際は十三年度豫算は十二年度より減少して居る。又地方は起債を制限せられて居るから、結局土木事業は一時休止の状態であつて、洵に遺憾である。固より戰時財政の關係にも依るのであるが、夫れのみを固執して、生産力の増加の目的を達成する土木事業を執行せぬといふことは非常に間違つた考へでなからうか、非常時に澤山の税金を負擔せしめねばならぬ。其の財源として民力を涵養しなければならぬ、民力の涵養には土木事業を執行する外に方途がないのである。

政府は土木會議等に於ても、河川或ひは道路、港灣等の事業に付、一定計畫を樹立して、一定の年限に之を執行するといふ決定を見て居るのであるが、豫算が之に合致しない。會議は立派な決議をしても、其の執行は少しも決議通りに行はれて居ない。計畫と豫算は別だと云ふことでは、折角政府が土木會議を設け、所謂衆智を蒐めて決定しても、繪に描いた餅みたいな様で何の効果もない。此非常時の財

政を負擔する民力を養成する爲には、土木會議に於て決定せられた各種の事業を、十三年以降に於て決定通り遂行するや否や、確心のある處を承りたい。

末次内務大臣は、土木事業は、一般産業の基礎を爲すものであるから、戦時だらうと、委細構はず平生通りにやれと云ふ御趣意のやうであるが、現下の國家財政は夫れを許さないと云ふので、己むを得ず現状に満足せざるを得ない状態であると述べて居る。

田中さんは、財政上困ると云ふので、大藏省の意見に盲従とは云はぬが、主として、従はれて常に土木事業が抑制せられては、地方は爲さんとしても爲すことが出来ない。地方の認識を今少しく深めてはどうか。折角出征して居る兵士が郷里へ歸つて來ても、自分の田畑が流失した儘の處がある。斯様に土木事業を中止し或は執行見合せといふ様なことをするのは、此戦地に於て奮闘して居る將兵諸君に報ずる所以でもなければ、我々銃後の當然望まない所である。大臣は今の財政の關係と云ふが、此頃の財政家は、兎に角

總括的に、戦時であるから財政が苦しいといふことで寡少に豫算を抑へ、一方軍事費では、イヤ夫れ程日本の財政は貧弱ではない。數十億の金を出しても構はないと云ふ。ツマリ平和の産業に付ては金がない、軍事費には金があると云ふ風では、一體銃後の財政の觀點が何處にあるのであるか疑念に堪えない。財政が困ると云ふ丈けで此の問題を輕視せず、盛大に土木事業を執行する様にして貰ひたい。と結んで居る。

田中氏は更に語を續けて、關門國道調査の進捗狀況を質問した。之に對し、末次内務大臣は、此の調査は極めて順調に進行中で、昨年夏着手以來、本年一月末には、既に門司側の堅坑の掘鑿が完了したし、下關側の堅坑も二月中には完了の見込で、坑導は本月初めから門司側の掘鑿に着手して居るのであつて、今後特に豫期しない支障がない限りは、大體六ヶ月間を以て其の掘鑿を終了することになつて居る。夫れで残つて居るのは、陸地測量部に委託してある地塊運動の調査のみである。

此の事業は各方面から見ても極めて重要なものであるから、成るべく早く是が實現する様に努力したいと思ふと答辯した。

田中氏は引續き、調査の状況は了知したが、技術的に此處に隧道事業を起すことの可能な見透しが付き、隧道を掘鑿することが非常に利益であると云ふことが六ヶ月後に明になつたならば、政府は十四年度から引續いて本格的の工事に着手する決心があるか、ドウか。又此事業を遂行するが爲には相當莫大な費用を要するものと思ふが、其の負擔方法をドウ措置するか。多額の費用を要するが故に、大藏省は之が要求をさせないとすると、五十萬圓もの調査費が結局計畫倒れになるのではないか、何等かの財源の方法を攻究するにあらざれば、此の大事業は出來ないのではないかと考へる。

之に對し安藤土木局長は、此關門隧道は各方面から見て、極めて重要なものであるから内務當局としては十四年度から之を着工致したい見込で、此點は將來大藏省と十分に折

衝する。又工費の總額は、充分判明しないが、大體千萬圓近くの費用を要することゝ考へて居る。之を從來の例に依る、三分の二を國庫負擔とし其の殘額を地方負擔とするか、又は斯様な本州と九州とを連絡する産業、國防上重要な道路であるから將來十分考究して或は適當な方法を以て、費用を徴收することも一案として考へて居る。夫等の點は随分重要であるから十分慎重にしたいと答辯した。

田中氏は進んで、去年「ガソリン」税を創設するに當り「ガソリン」の使用量の大部分は主として自動車であるから、其の「ガソリン」税の一部を割いて道路改良費の財源に充當せよと附帶決議をしたのであるが、十三年度豫算を編成するに當つて、「ガソリン」税を貰つたかどうかと質問した。

勝田内務政務次官は「ガソリン」税創設の際に於いて、其の一部を道路舗裝費に充當せよといふ希望は洵に御尤であつて、内務當局としては、左様な決議もあり、又理論的にも當然で、豫算編成に際し色々考研もし、交渉も試みた

のであるが、十分なる成果を得るに至らなかつたのは、甚だ遺憾であるが、尙此上とも此の問題の解決に努力致したと述べて居る。

田中氏は尙ほ質問を續け、重要府縣道の制度は随分古くから樹てられたのであるが、此頃突如として従來の道路網を組變へられたものがあるが、圖面の上の場當りの見地からの變更は慎んで貰ひ度い。と關西方面の實査の結果に付いて、地方民の失望の狀況を述べられた後、續いて近頃内地に各種の軍事施設が出来た。飛行場とか或は其の他の營造物を軍事上造られたのであるが、之に連絡道路がないが、之れは軍事上必要なる施設であるから軍事費で支辨するの、或は道路費用を追加にて遂行するのであるか承り度い。

之に對し安藤土木局長は、時局の影響に依る軍事上或は其の他公共用の色々な營造物と之を連絡する道路の缺陷に付いては、内務省としても何とか完成したいと思ひ、是等の調査も終つたので、出来得れば追加豫算として實現した

いと明言した。そして之れは結局追加豫算として提出されたのである。

内田氏の質疑

内田氏の質問の要點は、九州と本州とを陸續きとする、極めて輝かしい關門國道隧道計畫が實現する時運となつて來て、既に着手して居られる調査の進捗程度はドウであるか、又今迄の調査の成績に徴して、其の結果が技術的に見て、隧道工事の遂行が可能であると云ふ見透しが出来た場合に、政府は之迄に支出した經費を無駄にすることなく、本格的に引續いて隧道工事を進行する用意のあることは當然であると思ふが、其の將來に對する見込、工事進行に付いての計畫、十四年度より引續き遂行すると云ふ考がありや否や内務大臣の見込を伺ひ度い。

之に對し末次内務大臣は、調査は昨年着手して以來、順調に進行して、目下の情況では、十三年中に完成の見込である。進行の情況に付いては、政府委員たる土木局長に詳

細説明をさす。此の事業は、交通、産業軍事其他各方面に互つて極めて重要なものと信するが故に、調査完了の上は、出来るだけ其の實現に努めると答へ、安藤土木局長は、調査の方法と進捗情況とを詳細に、數字をも擧げて答辯した後、調査の完了の上は、出来るだけ早く此の工事の本工事に着手したいと決意を披瀝した。

内田氏は、將來此の工事を本格的に進行すると云ふ見込みの付いた場合には、相當巨額の經費を要するが、其の財政との交渉は相當に難關があると考へるが、此の國策的大事業の國道建設に付、普通の場合に做つて地元負擔の關係を適用することは、當を得ないと思ふが、此の點に付き、何等か研究して居るか、是は地元としても、相當重大なことであるから、其の計畫なり、見込なりを示されたいと質問した。

末次内務大臣は、關門隧道は相當莫大なる經費を要すると思ふが、其の性質上固より大部分は國家が負擔すべきだと只今は考へて居る。地方費の分擔がドノ程度になるか、

其處まで詳細に何等内定して居らぬ。要するに大部分は國家が負擔すべきものだと思ふ考へを内務省としては持つて居ると答へた。

内田氏は、其の趣意を諒解した。更に陸軍大臣に對し、此の工事を遂行する利益は軍事的に重大なる關係があるとして、餘程此の計畫を支持されて居るやうに仄聞する。事業の將來性に付いて陸軍としても、大なる關心を持たれて、其の事業の繼續實現に大なる支援を與へて居られることと信するのであるが、此の事業の性質に付いて、其の考へを承知したいと質問した。

杉山陸軍大臣は、關門國道は國防上に極めて重大なる關係を持つて居ると信じて居る。即ち戰時に於て、關門海峡に於ける運送船其他一般の海上交通が非常に頻繁になる際に於て、本州と九州間との交通に支障無い様に、又兩方の交通を圓滑にする爲に隧道が完成すると云ふことは、更に又國防上朝鮮海峡に於ける危險軽減の爲に西日本の諸港灣を利用する爲にも極めて緊要なものであると信じて居

る。従つて陸軍としては内務當局に對し、熱心に此の完成の促進を希望して居る次第であつて従つて、今日に於ても爲し得る限り此の作業に對し便宜を圖つて居る次第である。

内田氏は事業完成の曉には、山口、福岡の兩縣及關門兩都に於ても、之に關聯して施設をなす工事や事業も多數であらうし、工場地帯の設置、地方民の住居、營業所の關係と云ふ風に直接に利害の影響が多である折柄、此の政府の重大なる決心を聞いて大なる光明を得た。ドウカ事業の

完成の一日も速かならむことに付て、兩相の御盡力を切望するとして、質問を打切つた。

結　　び

以上に依つて銃後國民の聽かんとする、路政問題の大綱を窺ひ得た。我等は堤、田中、内田三氏の質問が、國內の輿論を代表したものととして、示教されること多大たるものがあると共に深甚の謝意を表する次第である。

關　　門　　放　　送　　(三)

淺　　香　　生

銃後陣の強調

國民精神總動員運動は、單に精神的のものでもなく形式的のものでもない。要は時局多難時に於ける國民全體の眞

の心構へとその實行とである。

縣廳の或る課では上司の命を受け、縣下の町村を分擔行脚して、其の理事者や名譽職・何々委員等を招集して大聲疾呼、銃後の總動員は縣民の自覺に俟つ。なんて云はずも